

英語 (English)

基盤英語 (Basic English)

(工 ((知 A)1 年))

藪下 克彦・教授 / 鳴門教育大学

1 単位 前期 金 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目: 『基盤英語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『英語 (1)』)

【授業の目的】 我々の身の回りでは、好むと好まざるに関わらず、「グローバルゼーション」の名のもと、様々な分野で国際化が進行している。そのような国際化社会で生きていくためには、実質的国际共通語である英語によるコミュニケーションを習得することは非常に重要なことである。本授業は、いわゆる「実践的英語コミュニケーション能力」と称される英語運用能力の文法的基礎、特に TOEIC で求められている「コミュニケーションに役立つ文法能力」を養うことを目的とする。

【授業の概要】 各回の授業で文法項目の一つ取り上げる。まず、文法項目の要点を整理し、その後、理解確認と定着のための練習問題を行う。中間・期末テストは、TOEIC の Part V(文法・語彙問題) と Part VI(誤文訂正問題) 形式の問題を中心に出題する。上記の活動以外に発音(記号)、文化的背景知識、異文化理解などに関する内容も扱う。

【キーワード】 コミュニケーション、文法、発音(記号)

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 「コミュニケーションに文法は不要である」という迷信を退ける。
2. 単語や文法事項を例文やコンテキストの中で学習する習慣を身につける。
3. 「カタカナ英語発音」からの脱却

【授業の計画】

1. 時制 (Tenses)
2. 仮定法 (Subjunctive)
3. 受動態 (Passive)
4. 関係詞 (Relatives)
5. 分詞 (Participles)
6. 助動詞 (Auxiliary Verbs)
7. 主語と動詞の一致 (Subject/Verb Agreement)
8. 中間テスト
9. 不定詞・動名詞 (Infinitives and Gerunds)
10. 比較 (Comparison)

11. 形容詞・副詞 (Adjectives and Adverbs)

12. 名詞・冠詞 (Nouns and Articles)

13. 接続詞 (Conjunctions)

14. 否定 (Negation)

15. 期末試験

16. 総括授業

【教科書】 Essential Grammar for the TOEIC Test・TOEIC テスト基礎文法トレーニング・第 2 版 (ISBN978-4-7773-6163-2), マクミラン ランゲージハウス, 1, 800 円

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 中間テスト, 期末テスト, 授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する。

【再試験の有無】 有

【受講者へのメッセージ】 「英文法をもう一回やり直したいけど、一人で参考書を読み直すのは、ちょっと・・・」, と考えていた人を特に歓迎します。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220861>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 藪下 (yabuchan@naruto-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: yabuchan@naruto-u.ac.jp)

English

Basic English

(工((知A)1年))

Katsuhiko Yabushita · PROFESSOR / NARUTO UNIVERSITY OF EDUCATION

1 unit 前期 金 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『基盤英語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『英語(1)』)

Target) 我々の身の回りでは、好むと好まざるに関わらず、「グローバル化」の名のもと、様々な分野で国際化が進行している。そのような国際化社会で生きていくためには、実質的国際共通語である英語によるコミュニケーションを習得することは非常に重要なことである。本授業は、いわゆる「実践的英語コミュニケーション能力」と称される英語運用能力の文法的基礎、特に TOEIC で求められている「コミュニケーションに役立つ文法能力」を養うことを目的とする。

Outline) 各回の授業で文法項目を一つ取り上げる。まず、文法項目の要点を整理し、その後、理解確認と定着のための練習問題を行う。中間・期末テストは、TOEIC の Part V(文法・語彙問題)と Part VI(誤文訂正問題)形式の問題を中心に出题する。上記の活動以外に発音(記号)、文化的背景知識、異文化理解などに関する内容も扱う。

Keyword) コミュニケーション, 文法, 発音(記号)

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 「コミュニケーションに文法は不要である」という迷信を退ける。
2. 単語や文法事項を例文やコンテキストの中で学習する習慣を身につける。
3. 「カタカナ英語発音」からの脱却

Schedule)

1. 時制 (Tenses)
2. 仮定法 (Subjunctive)
3. 受動態 (Passive)
4. 関係詞 (Relatives)
5. 分詞 (Participles)
6. 助動詞 (Auxiliary Verbs)
7. 主語と動詞の一致 (Subject/Verb Agreement)
8. 中間テスト
9. 不定詞・動名詞 (Infinitives and Gerunds)
10. 比較 (Comparison)

11. 形容詞・副詞 (Adjectives and Adverbs)

12. 名詞・冠詞 (Nouns and Articles)

13. 接続詞 (Conjunctions)

14. 否定 (Negation)

15. 期末試験

16. 総括授業

Textbook) Essential Grammar for the TOEIC Test・TOEIC テスト基礎文法トレーニング・第2版 (ISBN978-4-7773-6163-2), マクミラン ランゲージハウス, 1,800 円

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 中間テスト, 期末テスト, 授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する。

Re-evaluation) 有

Message) 「英文法をもう一回やり直したいけど、一人で参考書を読み直すのは、ちょっと・・・」, と考えていた人を特に歓迎します。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220861>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Yabushita (yabuchan@naruto-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: yabuchan@naruto-u.ac.jp)